

平成26年 網走市議会
生活福祉委員会 会議録
平成26年2月24日（月曜日）

○日時 平成26年2月24日 午後1時00分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 灯油価格高騰緊急対策事業の経過について
2. 行政視察の実施について
3. その他

○出席委員（6名）

委員長	渡部 眞美
副委員長	立崎 聡一
委員	金兵 智則
	空 英雄
	松浦 敏司
	山田 俊美

○欠席委員（0名）

○委員外議員（2名）

議長	小田部 善治
副議長	山田 庫司郎

○傍聴議員（5名）

飯田 敏勝
小澤 陽平
佐々木 玲子
高橋 政行
平賀 貴幸

○説明者

副市長	大澤 慶逸
福祉部長	酒井 信隆
社会福祉課長	鳥井本 和義

○事務局職員

事務局長	佐藤 明
次長	吉田 正史
総務議事係長	岩尾 弘敏
係	菊地 香代子
係	田中 康平

○渡部眞美委員長 ただいまから生活福祉委員会を開会いたします。

本日の委員会の進行ですが、灯油価格高騰緊急対策事業の経過についてと、行政視察の実施についての議件2件となります。

まず初めに、灯油価格高騰緊急対策事業の経過について協議後、理事者退室の後、行政視察の実施について御協議を願いたいと思います。

初めに、灯油価格高騰緊急対策事業の経過について説明を求めます。

○鳥井本和義社会福祉課長 それでは私のほうから灯油価格高騰緊急対策事業の経過について、御説明を申し上げます。

本事業につきましては、平成25年第4回定例会におきまして、追加補正の議決をいただきました事業でございます。

資料1号をごらんいただきたいと思います。

初めに申請受付期間等でございますが、申請受付期間につきましては、平成26年1月6日から3月24日までとしており、灯油券使用期限は平成26年3月31日までとなっております。

次に経過等の(1)申請受付数及び決定件数でございますが、2月20日現在、申請受付が2,548件ございまして、そのうち灯油券の交付を決定したのが2,471件となっております。

次に(2)の対象世帯の状況でございますが、高齢者世帯を初め、各区分の決定世帯数及び申請率につきましては記載のとおりとなっております、2月20日現在で全体の実質申請率は73.6%となっております。

次に(3)の移動受付会場の申請状況でございますが、1月28日から2月5日までの6日間において市内15カ所で行い、申請受付数は539件となり、現在までの総申請数に対する割合は、21.2%となっております。

以上で本事業の説明を終わります。

○渡部眞美委員長 質疑に入ります。

○松浦敏司委員 ちょっと私の印象では、まだあと1カ月受付期間は残っておりますけれども、もう少し残っているのかなというふうに思っていたのですが、73.6%ということでありまして。

それで、多分これは市のほうから事前に郵送し

午後1時00分開会

て、そして該当と思われるところに行なったのではないかと思うのですけれども、その辺の確認と、それからここに非該当77件ありますが、この中身についてお聞きしたいと思います。

○鳥井本和義社会福祉課長 まず周知の方法なのですけれども、松浦委員の言うように助成対象と思われる方に対して、実施内容のチラシと申請書を送付しております。

また広報紙、ホームページ等で事業の内容を掲載しているほか、チラシの新聞折り込み、報道機関への広報等を行っております。

あと非該当の77件につきましては、ほとんどが課税世帯の方が間違っているといえますか、非課税だと思って申請しているというのがほとんどでございます。

以上です。

○松浦敏司委員 その辺はわかりました。

それで対象世帯の状況ということで、それぞれ対象ごとに数字が出ていますけれども、高齢者世帯であっても実質申請率というのが72%ということで、六百七十数件まだ申請が残っているというふうになっておりますし、それぞれが大体その程度といえますかね、それからひとり親のところも申請数が率としては一番低いというふうになっておりますし、生活保護世帯でも83.3%というふうになっておりまして、これらの申請状況というのをどんなふうに捉えていらっしゃるのか、伺いたいと思います。

○鳥井本和義社会福祉課長 申請状況なのですけれども、一応昨年度と比較しますと、昨年度は高齢者世帯が77.6%、障がい者世帯が76.3%、ひとり親世帯が78.4%、生活保護世帯が88.7%、トータルで79.1%というふうになっております。

あとひと月程度ございまして、大体1日15件前後の申請がありますので、また今後、広報紙の3月号にもこの内容のことについて載りますので、あとひと月あればもう少し、昨年実績には追いつくのかなというふうに考えております。

○松浦敏司委員 そういった見通しで、せっかくできた制度ですから、そして非課税で生活が大変な方に対しての支援だというふうにも思いますので、やはり漏れなく支給されるのが一番いいことだというふうには思います。

それで特に高齢者世帯という点では今、1人単身の高齢者がふえてきているというようなこともありますし、そういう意味では、私の考えでは例えば安

否の確認も含めて、電話をすとかというような方法は考えたりはしないのでしょうか。

○鳥井本和義社会福祉課長 電話番号についてはそこまで把握しておりません。あとはマスコミ機関を通じて、この事業内容について周知していただければというふうに考えております。

○松浦敏司委員 いろいろな方法で多分中には忘れていたといえますか、わからないという人も多分いるのだろうというふうにも思うので、その辺ぜひ漏れなくやっていただきたいというふうに思います。

あとは、もう1カ月の中で、できるだけ申請されるように期待するところです。

以上です。

○渡部眞美委員長 他にございますか。

○空英雄委員 関連ですけれども、昨年度も灯油価格の高騰ということで対応してきているという部分で、そうすると、昨年度の高齢者世帯から生保世帯までの内訳というのがあるのだろうと。

照らし合わせたときに、去年でも100%にはなり得なかったという部分で、今年度の実績、現時点までの実績と、昨年度と照らし合わせたときに、ひよっとすると、同じ人たちが漏れているというか、申請がなされてないとかという、そういうようなチェックもしてみる必要があるのではないかと。

そういう部分については、先ほど話ありました安否確認という部分も含めて、必要なかなと思うので、残りまだ1カ月ありますけれども、あと885世帯、この人たちがせっかく行政のほうで対応しようという部分については、その恩恵にあずかれるような対応をすべきだと思うのですけれども、前の年の名簿といえますか、今日までのことしのやつをチェックしてみるという気持ちはありますか。

○酒井信隆福祉部長 対象者につきましては、高齢者はほとんど別枠の収入がございませんが、土地を売ったとか、臨時収入が入ってこられると、その辺の税情報については、本人の承諾を得なければ私たちも調査ができない状況にあります。

今お話あったように、実際に前年度と今年度の対象者を組み合わせたときに、そのところであるかないかは、前年度対象になりました、今年度も対象外ですというなかなか照らし合わせるというのが、なかなか個人の収入状況を確認をしなければならぬ状況にありますので、そこはなかなか難しいという部分でございます。

今お話あったように、されど多くの方々にこの灯

油券につきましては、受け取りに来ていただきたいという部分がありますので、広報だけではなくてほかの新聞報道にも、今現在こういうような状況ですという形で、状況の報告を新聞報道に載せていただくような方法をとりまして、やっていきたいと思えますし、あとは会場もコミセンなり何なりでやっておりますので、その辺の人の動きがあつて、きょうは何があつたのだろうということで皆に知っていただきたいなど。

本来は個人情報なので、数字の部分もなかなか難しい部分を皆さんに受け取っていただきたいということで、個人に通知をしているような状況で、今後とも周知については徹底をしていきたいと思っております。

○空英雄委員 言わんとすることはわかります。

ただ、本年度の部分がきちんと押さえられないと。収入だとかそういう部分で。それはわかりません。ですけれども、去年の実績を基本として考えたときに、去年も来られなかった、今年も来られなかったという人たちがいるとすれば、今言った広報だとかもろもろの啓蒙やっても、わかり得なかったのか、その人の現状がどうなっているのか、どういう状態にいるのかというのは、ちょっとなかなかつかめていないのだろうと思うので、そういう部分については去年もことしもという部分については、ある部分では電話というのも必要ではないのかなど。

せつかくこういう行政として対応しているわけですから、これを評価してもらうためにも、やはりそのくらいまでやる必要があるのではないかと思うのですけれども、どうですか。

○酒井信隆社会福祉部長 今お話あつたように、多くの方に電話をする方法もあると思えます。

その辺は少し検討させていただきたいと思えますけれども、やはりこの件についてはみんなの税金を使っているのですから私は要らないとか、同居しているので息子に出してもらっているのですから市の援助は受けたくない、受けないという方もおられるので、逆にそういう方にお電話するとお叱りの言葉をいただくときがありますので、その辺も含めて今お話あつたように、全ての方にいただいていたらいらうのが一番いいと思えますので、その辺も電話を含めて、ちょっとどういうふうな今後周知徹底をしていったらいいのか、検討させていただきたいと思えます。

○空英雄委員 ぜひそういう対応で今言われたようなそういう部分でのお叱りは、大変うれしいお叱り

だろうと思えますので、より細かい対応というのはやはり大事だろうと思えますので、それを期待しておきたいと思えます。

以上です。

○渡部眞美委員長 他にございますか。

質問がございませんので、次に移ります。

2をとばしまして、3のその他にいきたいと思えますが、理事者側より何かございますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

委員より何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

それでは、一旦休憩いたします。

午後1時14分休憩

午後1時14分再開

○渡部眞美委員長 再開いたします。

2の行政視察の実施について協議をしていきたいと思えますが、まず前回の2月12日開催の委員会の結果については、5月に実施をすることと決定したところであります。

また本日視察項目、視察先など希望があれば正副のほう言ってもしくは事務局にということで、事務局のほうに山田俊美委員のほうから調べていた事項があり、書かれていたものを皆様にお配りをしている状況であります。

まず初めに、前回の委員会のときに空委員の欠席がありましたので日程で、御相談を皆さんとしたいと思えますが、参考までに、現在第2週、5月12日の週に決定されているのが、総務文教委員会ですが、これは別になるべく重ならないようにという意向でやっていたので、その週であっても構いませんが次の週という。

○空英雄委員 私の個人的な希望としては12日の週までに帰ってこられるような体制で、日程を組んでいただければありがたいと。日程的な希望です。

○渡部眞美委員長 ということは、第3週の19日の週というのは、都合がつかないということですね。

○空英雄委員 19日の週、26日の週はちょっと厳しい。これは私の都合ですから、皆さん方の都合もありますけれども、これだけどうしようもないという部分があるものですから。

○渡部眞美委員長 空委員、12日の週でしたら大丈夫ということですね。わかりました。

今、空委員のほうから第2週の都合の希望ということがありましたが、私ども委員会としては少ない限られた人数ですので、全員が参加をできる視察に

したいと思っておりますので、他に第3週、第4週、第2週に予定がどうしてもつかないという委員の方いらっしゃいますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

いらっしゃらないようなので、12日の週と決定してよろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

日程につきましては5月12日の週、恐らくいつも火曜日出発ということになってくるかなと思います。その後事務局と、その辺は相手先のこともありますので検討していきたいと思います。

続きまして視察項目、視察先につきましては、きょうの委員会の中で皆様が調べたところ、何か参考があれば受け付けて、相談をしていこうということになっておりましたので、まず山田俊美委員のほうからペーパーになっていますので、まず簡単に発言をお願いしたいと思います。

○山田俊美委員 私のほうは2件提出したのですけれども、最初の一点目は東海市の未婚者支援対策事業という形で出したのですけれども、これを見ますと生活福祉委員会の所管ではない可能性がありますので、私たち拓進会で副委員長と見ているときに、子育てと結婚を応援するまちということを中心にみていて所管が違ったので、この辺所管が違っていてもいかどうかは皆さんの御判断で行きたいなと思っています。

内容についてはここに書いておおりであります。いわゆる結婚をとおして人口増にいきましよう、そういう流れのことを書いてあります。

これが1点で、細かく言うと長くなりますので、これを読んでいただいとるところです。

それと2点目は、埼玉県草加市の草加市リサイクルセンター施設ということで、平成21年に完成した施設であります。

何件か調べたのですけれども、草加市でつくられたのが平成21年でまだ新しいということと、もう一つは、この施設のコンセプトは3Rといって、発生抑制、再使用、再利用というこのキーワードを掲げて環境に取り組もうではないかという考えでやっている施設であります。ですから網走市においても、今後同じような取り組みをしていくのが理想であるので、一応ここを視察して研究してみたらどうかということで、この2点をあげました。

○渡部眞美委員長 ありがとうございます。

草加市のリサイクルセンターにつきましては、施

設の概要まで添付されています。ちょっと一人一部はないのですけれども、見ていただければと思います。

今、山田委員のほうから、2点ほど調べたことを出しましたけれども、他にございますか。

○松浦敏司委員 事務局にはまだ書類では出していませんが、口頭で私なりに調べたところでは介護関係について視察したいなというふう思ったものですから、一つには群馬県沼田市というところで、認知症に優しい地域づくりネットワーク事業ということで、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者が住みやすい環境というようなことで取り組んでいるということなので、まさにこういったことは、どこの自治体でも重要な取り組みの一つになるので、ここを見たいなと思ったのと、もう一つは埼玉県坂戸市で、これはユニークな取り組みということで、葉酸プロジェクト推進ということで、ビタミンB群の一種である葉酸を摂取することによって認知症や脳梗塞を防ぐことができるということで、これはなかなか興味のあるところだなというふう感じたので、そこを見てはどうかというふうにも思います。

あと少し離れてしまうので、とりあえず2カ所。私なりに提案させていただきたいと思います。

○渡部眞美委員長 ありがとうございます。

他にございますか。

○金兵智則委員 僕のほうからも1カ所自分なりに調べたのですけれども、石川県七尾市というところで、地域における子育て環境の充実を図るために、子育て支援センターですとか子どもに関するものの機能を集めた、親子ふれあいランド「あいあいあい」というのがあるのですけれども、施設は平成18年に完成はしているのです。

少し前の施設になるのかなとは思っているのですけれども、商業施設中心とした駅前再開発ビルということで中心市街地にドーンというふうにあって、中心市街地にある分だけ人が集まりやすいという部分もありますので、そういった面で、網走市も子育てに関してはいろいろな地域でもやっていますけれども、大型なものなのかどうかもわからないのですけれども、子育てに関すること一つにまとまっているという施設があってもいいのかな思いましたので、そういう所を見に行けたらなと思ひまして、提案をさせていただきます。

○渡部眞美委員長 今、3委員のほうから環境リサイクルについて、また高齢者福祉、介護、認知症に

ついでと、子育て施設ということで項目はそれぞれ出たかと思いますが、場所等ではなく、委員会としてこういう項目がいいということの意見等ございますか。

○空英雄委員 どれも大事な問題だと思います。

実はこれで見ている山田委員からの未婚者支援対策事業、これが果たしてそごうかどうかというお話もあったけれども、これはどう解釈するかで対応は別に問題はないのかなと思いますけれども、いずれにしてもそれぞれ皆さんから出ていた部分の中で、視察件数も限られた日にちの中で絞られてくると思うので、そうすると埼玉草加市の山田委員からのリサイクルセンター、それと埼玉の坂戸市ですか葉酸の関係、それと群馬の沼田市、この3市、せっかく皆様方いろいろ調べていただいたという部分も含めて、この辺を基本として考えてもらって結構ではないかなと、私は思います。

あとは正副委員長に、相手方があるわけですから、必ずしもここで決めてコンクリにするというわけにいかないのだろうと思うので、正副委員長にお任せしたいと。

○渡部眞美委員長 今皆さんに御意見をいただいた中と、移動の関係も含めまして、今の空委員が言っていたような形を中心にしながら、正副のほうに一任していただいて、次の委員会までに皆様にお示しができればと思っておりますが、それによろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

本日の委員会で決定したことは、まず5月12日の週に視察といたします。

あとは項目、視察先につきましては、委員長と副委員長に今の皆さんからいただいた御意見を中心にした中で一任していただくということで御了承願います。

それでは委員会を閉会いたします。

午後1時25分閉会
